

## 原料費調整（スライド）制度に基づく2022年6月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。ご了承ください。

敬具

記

- 「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2022年6月検針分に適用される従量料金単価を、2022年5月検針分に適用される従量料金単価に対し、1 m<sup>3</sup>あたり+0円72銭（税込）調整させていただきます。
- 標準家庭（1か月のご使用量が21 m<sup>3</sup>）の場合、ガス料金は月額6,355円（税込）となり、15円（0.24%）お支払額が増加します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1 m<sup>3</sup>あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2022年1月～2022年3月のLNG、プロパンの平均原料価格を2022年1月～2月の貿易統計確報値および2022年3月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は88,180円/t となります。2022年5月検針分のガス料金調整額を算定した2021年12月～2022年2月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2022年1月～2022年3月の実績平均原料価格は、トンあたり840円上昇することになり、料金調整は上記のとおりとなります。

●2022年6月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2022年5月検針分の従量料金単価に対して、+0.72円の調整となります。

料金表	1か月の 使用量	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価 (1 m <sup>3</sup> あたり)	
			2022年6月	2022年5月
A	0 m <sup>3</sup> から 10 m <sup>3</sup> まで	976.80 円	288.43 円	287.71 円
B	10 m <sup>3</sup> を超え 170 m <sup>3</sup> まで	1,593.46 円	226.76 円	226.04 円
C	170 m <sup>3</sup> を超え 500 m <sup>3</sup> まで	4,690.18 円	208.54 円	207.82 円
D	500 m <sup>3</sup> を超える	10,674.18 円	196.58 円	195.86 円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

●2022年6月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭（1か月のご使用量が21 m<sup>3</sup>）の場合

2022年6月適用料金 (a)	2022年5月適用料金 (b)	増減 (c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
6,355 円	6,340 円	+15 円	+0.24%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む1か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの2016年～2020年の月平均使用量です。

●平均原料価格（円/t）および従量料金単価調整額（円/m<sup>3</sup>）

	2022.1～2022.3	2021.12～2022.2	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格(貿易統計値)	88,180	87,420	42,480
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	92,450	89,830	39,600
平均原料価格(LNG換算)	88,660	87,820	42,520

■2022年1月～2022年3月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均輸入価格} \times 0.9645 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0390 \text{ (10円未満四捨五入)} \\
 &= 88,180 \text{ 円/t} \times 0.9645 + 92,450 \text{ 円/t} \times 0.0390 \\
 &= 88,655.16 \text{ 円/t (10円未満四捨五入)} \\
 &= \underline{\underline{88,660 \text{ 円/t}}}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 88,660 \text{ 円/t} - 42,520 \text{ 円/t} \\
 &= 46,140 \text{ 円/t (100円未満切捨て)} \\
 &= \underline{\underline{46,100 \text{ 円/t}}}
 \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1 m<sup>3</sup>あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{従量料金単価調整額} &= \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times 0.082 \times (1 + \text{消費税}) \\
 &= 46,100 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.082 \times 1.10 \\
 &= 41.5822 \\
 &= \underline{\underline{41.58 \text{ 円/m}^3}}
 \end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を0.0902 (0.082×1.1) 円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切上げます。

	2022年6月	2022年5月	増減
調整額 (円/m <sup>3</sup> ・税込)	+41.58	+40.86	+0.72